

授業科目名	美術科教育法2 (Art Education 2)		
科目番号	94420(産業技術学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2・3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部
担当教員(研究室)	吉田奈穂子(非常勤講師)、水野裕史(非常勤講師)、宮坂慎司(非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目	大学及び学校教育現場で美術科教育の経験を有し、指導法研究に関する実績を有する教員によって行う		
免許法施行規則に定める科目区分等	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 美術)		
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業の到達目標	中学校美術科ならびに高等学校芸術科美術の指導において、現代的な課題を意識した指導計画を立案し、実際の指導に必要な教材を工夫して作成する力を身につける。		
授業概要	積極的な教材開発と遂行・評価を行うための基礎となる理論や方法について様々な活動を通して学び、各自が工夫した指導案と教材を作成し、模擬授業での実践を検討する。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、指定したテキストや資料など読んでおくこと。次回の授業範囲を予習し専門用語の意味等を理解しておくこと。(2H) 事後学修 授業で学んだ内容の復習をしておくこと。(2H)		
授業計画	第1回:シラバスを用いたガイダンスと受講案内 第2回:現代の美術・デザイン教育 第3回:学習指導要領と現代的課題 第4回:映像メディアを活用した指導(1)中学校美術科 第5回:映像メディアを活用した指導(2)高等学校芸術科美術 第6回:授業構想を立てる(指導案作成) 第7回:授業構想の報告と相互批評(指導案作成) 第8回:学習指導案における目標と評価(指導案作成) 第9回:学習指導案における学習活動の展開計画(指導案作成) 第10回:学習指導案における材料と技法(指導案作成) 第11回:学習指導案を相互評価する(指導案作成) 第12回:学習指導における提示資料の工夫(教材研究と情報機器) 第13回:学習指導における教材の工夫(教材研究と情報機器) 第14回:授業展開の実際について学ぶ(模擬授業) 第15回:模擬授業の実践と省察(模擬授業)期末試験を実施しない。 期末試験を実施しない。		
テキスト	必要に応じて授業時に紹介する。		
参考書・参考資料等	「中学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編」文部科学省、その他必要に応じて授業時に紹介する。		

成績評価方法	作成教材・指導案(50%)、授業の取り組み(50%)を総合的に評価する
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない